

ゆうこうの家通信 Vol.16

以前の「ゆうこう通信 VOL.14」にて、日々の生活に役立つ名言をご紹介しましたが、多くの方からご好評いただきました。第二弾となる今回は、様々な名言をクイズ形式で紹介していきます。じっくりと名言を読みながら、答えについて考えてみてください。

「個性的な例えが使われている名言」下の□を参考に考えてみてください

- 人生は (①) のようなものだ。一番の近 (①) は、たいてい一番悪い (①) だ。
- 人生は (②) に乗るようなものだ。倒れないためには、走り続けなければならない。
- 努力ってのは (③) みたいなものだよ。買っても当たるかどうかわからないけど、買わなきゃ当たらない。
- 「運」ってやつは、絶えず変わる。今、後頭部に一撃をくわせたかと思うと、次の瞬間には (④) をほおばらせてくれたりする。問題はただ一つ、へこたれてしまわないことだ。
- (⑤) と同じで、人の心も挫折し割れることで、鋭い切れ味をもつ。
- 失敗は (⑥) のようなものだ。それは確かに悪臭を放つが、将来的には物事がより早く育つようになる。
- 羞恥心は (⑦) のようなものである。それは微妙な問題に味をつけ、情趣をひとしおに深くする。
- 同じ景色を見て、何も感じない人もいれば、そこに (⑧) を発見する人もいる。常に (⑧) はある。
人生は静かな (⑧) 探し。 (⑧) を見つけたら密かに歓喜する。人に知ってもらう必要もない。
- 楽観主義者は (⑨) を見、悲観主義者は (⑨) の穴を見る。
- 不遇は (⑩) のようなものだ。刃をつかむと手を切るが、把手 (とって) をつかめば役に立つ。
- 人間は (⑪) だ。 (⑪) を磨くことができるのは (⑪) しかない。人間を磨くにも人間とコミュニケーションをとるしかない。
- 人の心は (⑫) のようなものだ。開かなければ使えない。
- 友情は成長の遅い (⑬) である。それが友情という名に値する以前に、それは幾度か困難の打撃を受けて耐えなければならぬ。
- 真実の愛は (⑭) のようなものだ。誰もがそれについて話をするが、それを見た人はほとんどいない。
- 「⑮」とは、18歳までに身に付けた偏見のコレクションである。
- (⑯) は、社会において着ることのできる最高の衣装の1つだ。

砂糖	塩	ドーナツ	ダイヤモンド	ガラス玉	
幽霊	ナイフ	パラシュート	自転車	植物	肥料
道	上機嫌	常識	宝	宝くじ	

「逆説的な名言」・・・・・・を考えてみてください

- ① 楽しいから笑うのではない。笑うから・・・・・・ (b y ウィリアム・ジェームズ)
- ② 苦しいから逃げるのではない。逃げるから・・・・・・ (b y ウィリアム・ジェームズ)
- ③ 人は幸せだから歌うのではない。歌うから・・・・・・ (b y ウィリアム・ジェームズ)
- ④ 興味があるからやるというよりは、やるから・・・・・・ (b y 寺田寅彦)
- ⑤ 成功は幸せの鍵ではない。幸せが・・・・・・ (b y アルベルト・シュバイツァー)

「じゃあ何だろう？続きが気になる名言」・・・・・・を考えてみてください

- ①. 人生とは、自分を見つけることではない。・・・・・・ (b y ジョージ・バーナード・ショー)
- ②. 人生とは、良いカードを持つことではない。・・・・・・ (b y ジョージ・ビリングス)
- ③. 人生とは、嵐が過ぎ去るのを待つことではない。・・・・・・ (b y ヴィヴィアン・グリーン)
- ④. 人生が困難なのではない、・・・・・・ (b y アルフレッド・アドラー)
- ⑤. 人は、運命に囚われているのではない。・・・・・・ (b y フランクリン・D・ルーズベルト)
- ⑥. 私たちは、無知によって道に迷うことはない。・・・・・・ (b y ジャン・ジャック・ルソー)
- ⑦. 幸福とは、何か飛び抜けたイベントなどではありません。・・・・・・ (b y ドロシー・ロー・ノルト)
- ⑧. 勇気とは、恐れを知らないことではなく、・・・・・・ (b y ネルソン・マンデラ)
- ⑨. 発見の旅とは、新しい景色を探すことではない。・・・・・・ (b y マルセル・ブルースト)
- ⑩. 最大の名誉は、決して倒れないことではない。・・・・・・ (b y 孔子)
- ⑪. 不可能の反対は、可能ではない。・・・・・・ (b y ジャッキー・ロビンソン)
- ⑫. 青春とは、人生のある時期ではなく、・・・・・・ (b y サミュエル・ウルマン)
- ⑬. 大切なのは、どれだけたくさんのかをしたかではなく、・・・・・・ (b y マザー・テレサ)

前ページの答え

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ①道 (b y フランシス・ベーコン) | ②自転車 (b y アルバート・アインシュタイン) |
| ③宝くじ (b y 北野武) | ④砂糖 (b y アラン・シリトー) |
| ⑤ガラス玉 (b y DaiGo) | ⑥肥料 (b y デニス・ウェイトリー) |
| ⑦塩 (b y 萩原朔太郎) | ⑧宝 (b y 銀色夏生) |
| ⑨ドーナツ (b y オスカー・ワイルド) | ⑩ナイフ (b y ハーマン・メルヴィル) |
| ⑪ダイヤモンド (b y チェ・ゲバラ) | ⑫パラシュート (b y ジョン・オズボーン) |
| ⑬植物 (b y ジョージ・ワシントン) | ⑭幽霊 (b y ラ・ロシュフコー) |
| ⑮常識 (b y アルバート・アインシュタイン) | ⑯上機嫌 (b y ウィリアム・M・サッカレー) |

「逆説的な名言」

- ①. 楽しいから笑うのではない。笑うから楽しいのだ。
- ②. 苦しいから逃げるのではない。逃げるから苦しくなるのだ。
- ③. 人は幸せだから歌うのではない。歌うから幸せなのだ。
- ④. 興味があるからやるというよりは、やるから興味ができる場合がどうも多いようである。
- ⑤. 成功は幸せの鍵ではない。幸せが成功の鍵です。もし自分のしていることが大好きなら、きっと成功するでしょう。

「じゃあ何だろう？続きが気になる名言」

- ①. 人生とは、自分を見つけることではない。人生とは自分を創ることである。
- ②. 人生とは、良いカードを持つことではない。持ち札の中で最高のプレーをすること、それが人生の醍醐味である。
- ③. 人生とは、嵐が過ぎ去るのを待つことではない。雨の中で、どんなふうにダンスするかを学ぶことだ。
- ④. 人生が困難なのではない、あなたが人生を困難にしているのだ。人生は極めてシンプルである。
- ⑤. 人は、運命に囚われているのではない。自分の心に囚われているのだ。恐れるべきものは何もない。私たちは、ただ恐れを恐れているだけだ。
- ⑥. 私たちは、無知によって道に迷うことはない。自分が知っていると信じることによって迷うのだ。
- ⑦. 幸福とは、何か飛び抜けたイベントなどではありません。日々を感じる小さな灯火にこそあるのです。
- ⑧. 勇気とは、恐れを知らないことではなく、それを克服することだと学びました。勇敢な人とは、恐怖を感じない人ではなく、その恐怖を乗り越える人なのです。
- ⑨. 発見の旅とは、新しい景色を探ることではない。新しい目で見ることなのだ。
- ⑩. 最大の名誉は、決して倒れないことではない。倒れるたびに起きあがることである。
- ⑪. 不可能の反対は、可能ではない。挑戦だ。
- ⑫. 青春とは、人生のある時期ではなく、心の持ち方を言う。
- ⑬. 大切なのは、どれだけたくさんのかたちをしたかではなく、どれだけ心を込めたかです。

名言は、励ましや勇気を与えてくれたり、新たな視点を提供してくれたり、色んな気づきを与えてくれます。時代を超えて、幅広い人々の心に今もなお響く言葉が多くあります。以前、読んだときには気に留めなかった言葉が、数年ぶりに目にして感慨深くなるのは、自分自身が成長した証なのかもしれません。



余暇支援教室について

近年、名古屋市内の小学校の部活動は民間委託へと移行しており、それに伴って運動部などの部活にも入りやすくなっているようです。以前は、野球部やサッカー部など運動部のハードルは高く、部活動自体が選択肢に入らない子も多かったので、良い傾向にあると思います。

「ゆうこうの家」では、現在、余暇支援教室が全部で8つあります。そのうち6つが卓球教室ですが、それぞれに特徴が異なります。参加しているお子さんに応じて、形式や時間配分を変えており、参加するお子さんができるだけ上達&満足できるよう努めています。参加するお子さんに応じて臨機応変に対応できることは、「ゆうこうの家」ならではのところです。最近では、高校卒業と同時にデイサービスが使えるようになるため、「ゆうこうの家」の余暇支援教室を利用し始めた方もいます。鉄道など、特に共通する好きなものがあると、初回からすぐに馴染めることが多いように思います。

卓球教室、鉄道クラブ、ゆうこうサークル（高校卒業後グループ）では、高校を卒業した大学生や社会人のお子さんも多く参加しています。「仕事が疲れる・・・」と言いながら、毎回参加してくる子もいれば、たまにしか参加できないお子さんもいますが、頑張って大学生活や社会人として働いている話を聞くと、ここではのんびりリラックスしてほしいなと思いながら接しています。以前の余暇支援教室は、小集団指導としての意味合いが強くありましたが、最近は、参加者が高年齢化していることもあり、居場所としての意味合いが強くなってきています。“安心できる居場所”として、「ゆうこうの家」の余暇支援教室をできるだけ長く続けていけたらと思っています。



代表あとかき

NPO 法人「ゆうこうの家」を立ち上げてから 18 年が経ちました。振り返れば、決して平坦な道ではありませんでしたが、多くの方に支えられ、今も活動を続けていられることに深く感謝しています。利用者の方々から、「ここに出会えて良かった」と言ってもらえることは、私たちにとって何よりの励みです。子どもたちの成長した姿を見ると、これまでの活動の確かさを感じられます。感謝の声、交流の輪、残された足跡――それらすべてが、私たちの歩みを照らしてくれます。これからも初心を忘れず、皆さまと共に、ささやかでも確かな希望をつなぐ場であり続けたいと思います。

発 行：NPO法人 発達・心理相談センター「ゆうこうの家」

住 所：名古屋市天白区表山1-1753-2 悠幸ビル2階